2027年3月期

KITABO

第2四半期（中間期）

決算補足説明資料

対象期間　2026年4月1日～9月30日

証券コード 3409　　公表日：2026年11月13日

株式会社 北紡

02

決算ハイライト

営業利益・EBITDAともに前年同期の赤字から黒字へ

連結売上高

15.0 億円

1,502.9 百万円

連結営業利益

0.5 億円

51.9 百万円

連結EBITDA※

1.1 億円

108.2 百万円

中間期予想との差異（百万円）

項目	中間期予想	中間実績	差異	主な要因
売上高	1,431.0	**1,502.9**	＋71.9	モビリティ事業の連結寄与等
営業利益	23.0	**51.9**	＋28.9	紡績事業の黒字転換、 モビリティ事業の収益寄与等
経常利益	23.0	**54.5**	＋31.5	営業利益の改善
親会社株主に帰属する 中間純利益※※	10.0	**26.7**	＋16.7	営業利益・経常利益の改善

※EBITDAの定義・算出内訳はP3。※※親会社株主に帰属する中間純利益。

KITABO

連結業績・EBITDAの前年同期比較

EBITDAは前年同期比132.3百万円改善し、108.2百万円へ

項目（百万円）	前年同期	当中間期	増減
売上高	821.2	**1,502.9**	＋681.7（＋83.0%）
営業利益	△34.4	**51.9**	＋86.4
経常利益	△33.6	**54.5**	＋88.1
親会社株主に帰属する中間純利益	△36.2	**26.7**	＋63.0
EBITDA※	**△24.1**	**108.2**	**＋132.3**

EBITDAの算出内訳（百万円）

当中間期　営業利益 51.9 ＋ 減価償却費 35.5 ＋ のれん償却額 20.8 ＝ 108.2
前年同期　営業利益 △34.4 ＋ 減価償却費 10.3 ＋ のれん償却額 0.0 ＝ △24.1

Vリムジンの連結に伴う減価償却費及びのれん償却額の増加により、営業利益とEBITDAの差が拡大しました。

※本資料のEBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額。

セグメント別業績の前年同期比較

前年中間期：2025年4〜9月 ／ 当中間期：2026年4〜9月（単位：百万円）

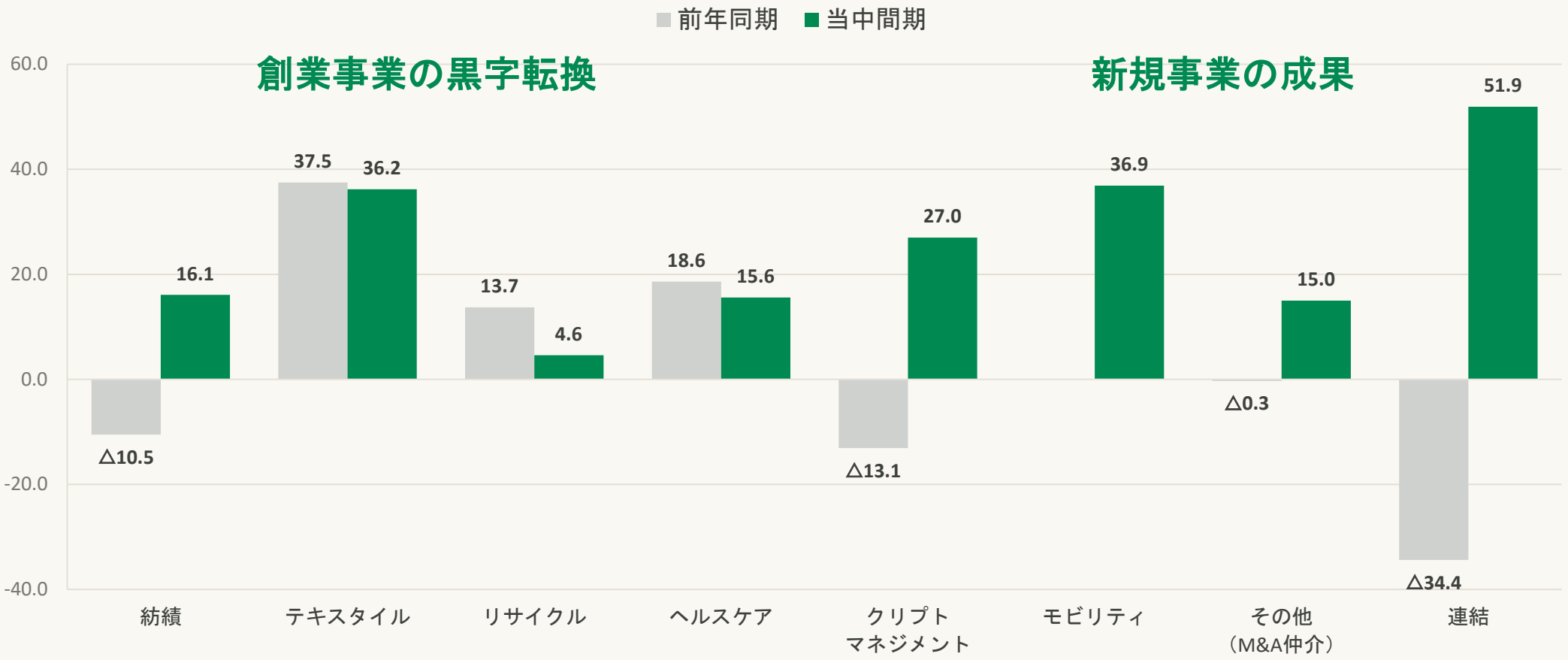
区分	売上高			営業利益		
	前年同期	当中間期	増減	前年同期	当中間期	増減
紡績	163.5	**161.8**	△1.7	△10.5	**16.1**	＋26.6
テキスタイル	365.3	**336.6**	△28.7	37.5	**36.2**	△1.3
リサイクル	131.3	**119.5**	△11.8	13.7	**4.6**	△9.1
ヘルスケア	165.0	**160.9**	△4.1	18.6	**15.6**	△3.0
クリプト マネジメント	△3.9	**27.0**	＋31.0	△13.1	**27.0**	＋40.1
モビリティ	―	**680.0**	＋680.0	―	**36.9**	＋36.9
その他（M&A仲介）	0.0	**17.0**	＋17.0	△0.3	**15.0**	＋15.3
全社費用・調整額	―	**―**	―	△80.3	**△99.5**	△19.2
連結	**821.2**	**1,502.9**	**＋681.7**	**△34.4**	**51.9**	**＋86.4**

※クリプト事業の売上高は評価損益を含む。各事業の営業利益は全社費用配分前。
増減は前年同期との差額。―は比較対象なし等。端数処理により合計が一致しない場合があります。

05

セグメント別営業利益の前年同期比較

前年中間期：2025年4〜9月 ／ 当中間期：2026年4〜9月（単位：百万円）



※モビリティ事業の損益は当中間期から連結損益計算書に反映しております。このため、前年同期の比較対象はありません。単位：百万円。

主要事業①　紡績・テキスタイル

単位：百万円　中間累計の実績

紡績

産業資材・防護衣料向けの紡績糸の生産

売上高 161.8 ／ 営業利益 16.1

加工費の改定や不採算銘柄の整理、生産効率の改善等により収益性が向上し、前年同期の営業損失から黒字転換しました。

課題・対応方針

課題：黒字化の定着
対応方針：帝人グループとの協業強化

テキスタイル

中東・東南アジアへの織物販売

売上高 336.6 ／ 営業利益 36.2

中東・東南アジア市場では需要停滞や物流費上昇等の影響を受けたものの、主要顧客への販売集中や早期受注の確保により、概ね計画どおりの収益を確保しました。

課題・対応方針

課題：生産・物流コストの上昇による営業利益率の低下
対応方針：新たな仕入先の開拓による増収・増益の追求

主要事業②　リサイクル・ヘルスケア

単位：百万円　中間累計の実績

リサイクル

廃プラスチック等の再資源化

売上高 119.5 ／ 営業利益 4.6

掛川工場：安定生産・コスト低減で収益に貢献
白山工場：仕入れの見直しと経費削減を推進

課題・対応方針

課題：収益力の強化
対応方針：価格転嫁と安定生産の継続

ヘルスケア

セキュリティ機器・中部薬品工業

売上高 160.9 ／ 営業利益 15.6

防犯カメラ事業は、コンビニエンスストア向け販売を中心に堅調に推移しました。また、他業種への販売展開や南九州・北関東エリアでの営業体制強化を進め、販路の拡大に取り組んでいます。

課題・対応方針

課題：防犯カメラの拡販による収益力の強化
対応方針：南九州・北関東での販売を加速

主要事業③　クリプト・モビリティ

単位：百万円　中間累計の実績

クリプトマネジメント

暗号資産の取得・運用

売上高 27.0※ ／ 営業利益 27.0

暗号資産の取得・運用を実施。

課題・対応方針

課題：運用管理の厳格化と相場変動リスクの抑制
対応方針：市場動向を注視し、慎重に運用

モビリティ

Vリムジン・NEO TOKYO

売上高 680.0 ／ 営業利益 36.9

インバウンド需要を背景にハイヤー事業が概ね計画どおりに推移したほか、タクシー事業においても配車アプリの活用等により安定した稼働率を維持し、収益確保に寄与しました。

課題・対応方針

課題：将来の運転手不足と人件費の上昇
対応方針：配車効率の向上や運行体制の最適化を推進

※クリプト事業の売上高は評価損益を含む。営業利益と現金収入は一致しません。

09

営業利益の増減要因

増益要因119.0百万円、減益要因32.6百万円により、連結営業利益は86.4百万円改善

増減要因	営業利益への影響額（百万円）
紡績事業	＋26.6
クリプトマネジメント事業	＋40.1
モビリティ事業	＋36.9
その他（M&A仲介）	＋15.3
増益要因 合計	**＋119.0**
テキスタイル事業	△1.3
リサイクル事業	△9.1
ヘルスケア事業	△3.0
全社費用・調整額	△19.2
減益要因 合計	**△32.6**

前年同期	当中間期	改善額（百万円）
△34.4	**51.9**	**＋86.4**

※端数処理により、表示値の合計と差額が一致しない場合があります。

KITABO

FULL-YEAR OUTLOOK

通期予想に対する進捗率

営業利益・経常利益ともに公表済み通期業績予想を超過

項目（百万円）	公表済み通期予想	中間実績	進捗率
売上高	2,862.0	**1,502.9**	**52.5%**
営業利益	46.0	**51.9**	**112.9%**
経常利益	46.0	**54.5**	**118.5%**
親会社株主に帰属する純利益	20.0	**26.7**	**133.6%**

下期見通し

当中間期の連結業績は、営業利益及び経常利益ともに公表済み通期業績予想を上回りました。下期については、各事業の収益改善及びモビリティ事業の安定的な運営に取り組んでまいります。なお、現時点において通期連結業績予想の修正はありません。

※進捗率は、公表済み通期業績予想を基準に千円単位の中間実績から算出。

KITABO

11

現中期経営計画の最終年度における通期目標に対し、中間期時点で売上高86.7%、営業利益82.4%の進捗となりました。

項目（百万円）	中計目標※	中間実績	進捗率
売上高	1,734.0	**1,502.9**	**86.7%**
営業利益	63.0	**51.9**	**82.4%**

次期中期経営計画を策定中

第104期（2027年3月期）は現中期経営計画の最終年度。
第105期（2028年3月期）～第107期（2030年3月期）の次期中期経営計画を策定中。

※進捗率＝中間実績÷2027年3月期の中計目標。中間実績は千円単位の数値から算出。

今後の展望

収益基盤の強化と新規事業の成長による企業価値の向上

当社グループは、既存事業の収益基盤の強化と新規事業の成長を両輪として、持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

既存事業については、生産効率の改善やコスト削減、販路拡大等を通じて収益性の向上に取り組むとともに、新規事業については、モビリティ事業の収益基盤の安定化やM&Aを通じた事業領域の拡大を推進してまいります。

また、現在策定中の次期中期経営計画においては、各事業の収益性と成長性を踏まえた経営資源の最適配分を検討し、安定的な収益基盤の確立と持続的な成長を目指してまいります。

将来見通しは現時点の情報・前提に基づき、実際の業績は事業環境等により異なる場合があります。